

**KOGANEI**

ハイパーイオナイザー  
サポートソフト

---

取扱説明書 (Ver. 1.0)

# 目 次

## 1.ソフト概要

1-1 概要.....	2
1-2 使用環境条件.....	2

## 2.使用前の準備

2-1 準備.....	3
2-2 パソコンとコントローラの接続.....	3

## 3.サポートソフト基本操作

3-1 オンライン／オフラインでの操作.....	4
3-2 サポートソフト操作画面.....	5
3-3 操作手順.....	6
3-4 モニタータブ画面操作方法.....	7
3-5 エラー履歴表示画面タブ画面操作方法.....	8
3-6 入出力確認タブ画面操作方法.....	9
3-7 パラメータ設定タブ画面説明.....	10
3-8 補正モードタブ画面説明.....	12

## 4.補正モード操作説明

4-1 補正モードとは.....	13
4-2 補正モード準備.....	13
4-3 補正モード開始.....	15
4-4 補正モード中のエラーについて.....	16

## 5.付録

5-1 パラメーター一覧表.....	18
5-2 補正時設定パラメータ説明.....	19
5-3 形式による設定が必要なパラメータ説明.....	20

※イオナイザーの詳細につきましては、各ハイパーイオナイザー取扱説明書 (X904284) をご参照ください。
---

# 1. ソフト概要

## 1-1 概要

本ソフトはハイパーイオナイザーと通信を行ない、各パラメータ設定・帯電状態表示を行ないます。

- データの設定

ワーク移動速度、イオナイザー設置距離等のパラメータデータを入力、編集し、ファイルの保存を行ないます。

- 補正

除電対象ワークに合わせて最適な除電が行なえるように補正を行ないます。

- 表示

センサから取得した帯電状態表示や、現在のI/O入力、エラー表示を行ないます。

## 1-2 使用環境条件

- 対象イオナイザー

**DTY-BX01-□-□-□、DTY-BX01-□-N**

- 作動環境

- ・基本ソフトウェア

Windows XP(SP3), Windows Vista, Windows 7, Windows 8

- ・コンピュータシステム

- コンピュータ本体：

[Windows XP]

1 GHz 以上の Pentium または同等のCPUを搭載したパーソナルコンピュータ

[Windows Vista, Windows 7, Windows 8]

Microsoft社が推奨するプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ

- メモリ：

[Windows XP]

使用可能メモリ512MB以上

[Windows Vista, Windows 7, Windows 8]

Microsoft社が推奨するメモリ容量

- ハードディスクの空容量：500MB以上

- ディスプレイ：解像度900×600以上（1024×768以上推奨）

- シリアルポート：RS-232Cシリアルポート使用可能のこと

- その他：「.NET Framework 4.0」がインストールされていること

「Windows Installer 3.1 以降」がインストールされていること

「Internet Explorer 5.01 以降」がインストールされていること

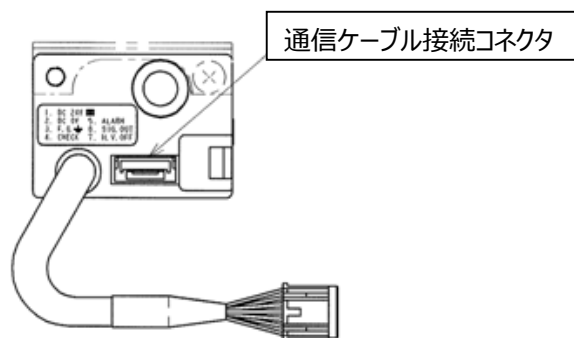
## 2. 使用前の準備

### 2-1 準備

- ・本ソフトは、インストールなしで起動することができます。
- ・.NET Frameworkがインストールされていない場合は、弊社HPから「dotNetFx40\_Full\_x86\_x64.exe」をダウンロードしてインストールしてください。

### 2-2 パソコンとコントローラの接続

- ・パソコン（RS-232Cシリアルポート）と、ハイパーイオナイザーの通信ケーブル接続コネクタに、PC通信ケーブル（DTY-ZTC-BX）を接続してください。



## 3. サポートソフト基本操作

### 3-1 オンライン／オフラインでの操作

本サポートソフトは、オンラインでの使用を基本としておりますが、オフラインでも一部の機能が使用可能です。

なお、サポートソフト起動時はオフライン状態です。

#### ■ オンライン（サポートソフトとイオナイザーが通信状態）の場合

接続/切断ボタンにて、イオナイザーと接続を開始すると、自動的にイオナイザータイプを取得します。

以降、イオナイザータイプに合わせた操作が可能になります。

オンラインで使用中にイオナイザーとの通信ができなくなると、メッセージが表示され、オフライン状態になります。

オンライン状態で、接続開始時に通信エラーが発生する場合は、イオナイザーの電源周りおよびコネクタを点検してください。

オンライン時の操作可能タブは下表の通りになります。操作不可タブを押しても切り替わりません。

イオナイザータイプ	モニター	エラー履歴 表示画面	入出力確認	パラメータ 設定	補正モード
DTY-BX01-□-□-□	可	可	可	可	可
DTY-BX01-□-□B-□	可	可	可	可	不可
DTY-BX01-□-N	可	可	可	不可	不可

#### ■ オフライン（サポートソフトとコントローラが非通信状態）の場合

パラメータデータの設定の（開く/保存含む）操作が可能です。

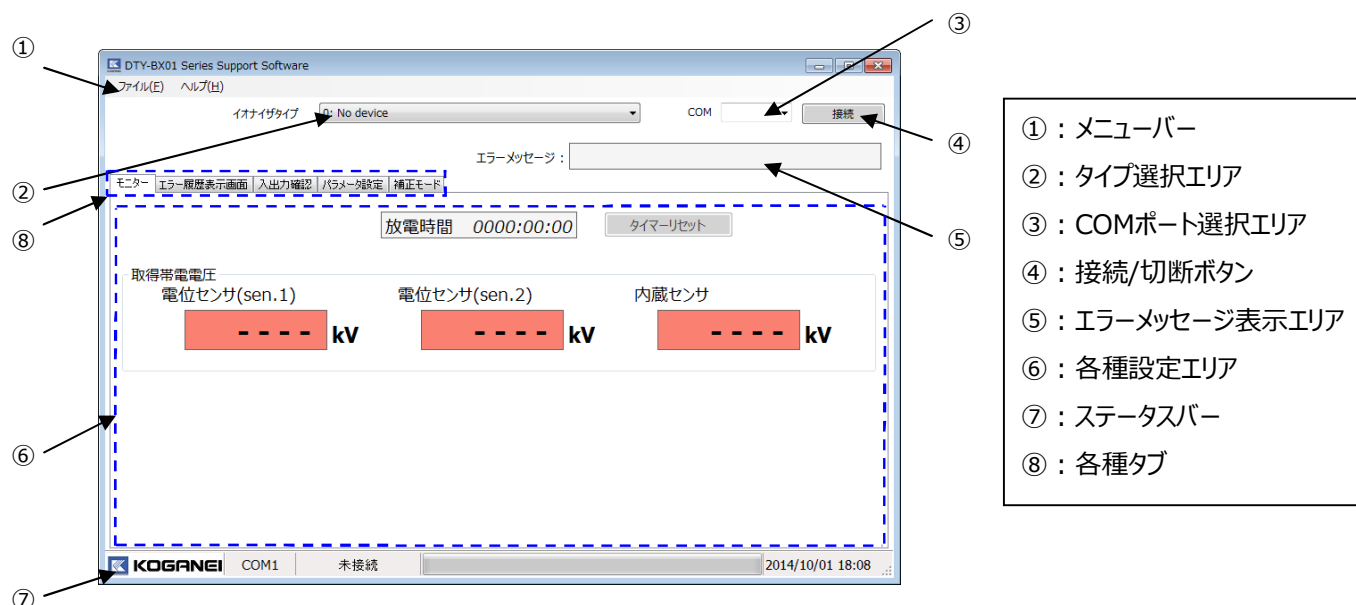
手動にてイオナイザータイプを選択し、パラメータ設定を行なってください。

オフライン時の操作可能タブは下表の通りになります。操作不可タブを押しても切り替わりません。

イオナイザータイプ	モニター	エラー履歴 表示画面	入出力確認	パラメータ 設定	補正モード
DTY-BX01-□-□-□	可※)	可※)	不可	可	不可
DTY-BX01-□-□B-□	可※)	可※)	不可	可	不可
DTY-BX01-□-N	可※)	可※)	不可	不可	不可

※) オンライン時に取得した情報を、オフライン時に見ることができます。オフライン時にデータを受信することはできません。

## 3-2 サポートソフト操作画面



No.	名 称	意 味
①	メニューバー	<p>プルダウンメニュー第一階層メニューが表示されます。 機能別に3つのプルダウンメニューを、メニューバーに表示します。</p> <p>■ ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規作成：画面上の設定値を削除して初期状態にします。</li> <li>・開く：保存されたファイルから設定値（パラメータおよび補正データ）を読み込み、画面上に表示します。</li> <li>・保存：設定値（パラメータおよび補正データ）を保存します。</li> <li>・閉じる：プログラムを終了します。</li> </ul> <p>■ ヘルプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バージョン：バージョン情報の表示（イオナイザーバージョン/サポートソフトバージョン）</li> </ul>
②	タイプ選択エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイプ切り替えにより、選択可能タブ、選択可能パラメータが切り替わります。選択可能タブ以外のタブを押しても切り替わりません。</li> <li>・イオナイザーとの接続状態では、タイプを切り替えることができません。</li> </ul>
③	COM ポート選択エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオナイザーと接続するCOMポートを選択してください。（表示COMポートは100以内です。）使用するCOMポートが表示されない場合は、パソコンとの接続を確認してください。</li> </ul>
④	接続/切断ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオナイザーの電源がONされており、接続が確立した状態で接続ボタンを押してください。</li> </ul>
⑤	エラーメッセージ表示エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオナイザーでエラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。既にエラーが発生している状態で、接続ボタンで通信を開始した場合、ボタンを押した瞬間に発生しているエラーが表示されます。</li> </ul>
⑥	各種設定エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各タブごとで内容が変わります。内容については、3-4～3-8を参照してください。</li> </ul>
⑦	ステータスバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続ポート名 ・通信接続状態 ・日付 ・時間</li> </ul>
⑧	各種タブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各タブの詳細については、3-4～3-8を参照してください。</li> <li>・イオナイザータイプによる使用可能タブは、3-1項参照。</li> </ul>

### 3-3 操作手順

操作手順について説明します。

- 1) COMポート選択エリア③にて、COMポート（通信ポート）を選択し、接続/切断ボタン④を押し、イオナイザーとの通信確立を行ないます。
- 2) タブ⑧内の“パラメータ設定”を選択し、必要に応じてパラメータ使用条件を設定します。
- 3) パラメータ送信ボタンを選択し、パラメータデータを送信します。

以下、DTY-BX01-□-□-□（DTY-BX01-□-□B-□以外）で、移動物体の除電を行なう場合

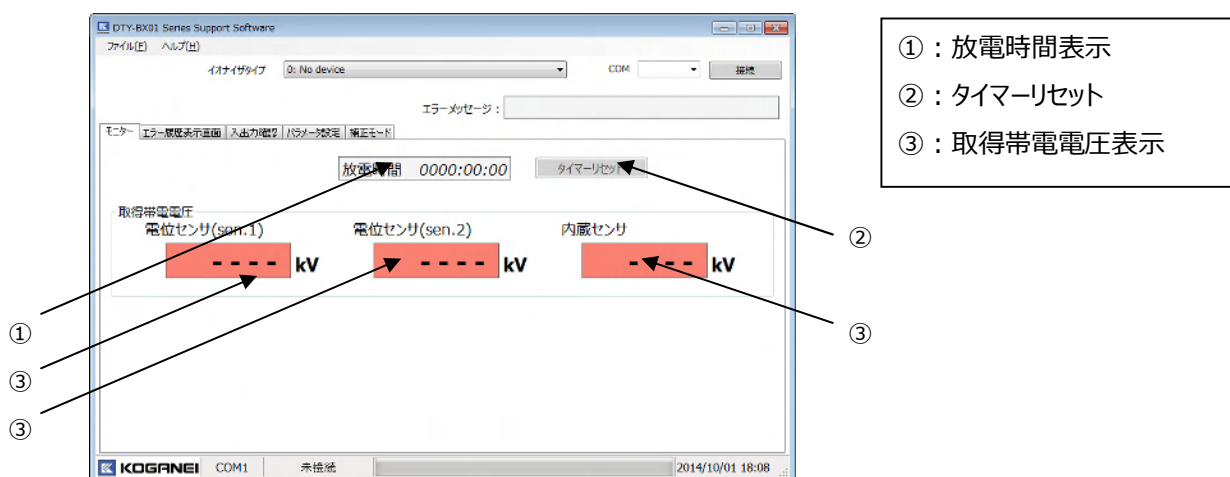
- 4) 補正を行なう必要がある場合、補正モードタブを選択し、補正運転を行ないます。
- 5) 現在の状態を確認したい場合は、タブ⑧内の“モニター”、“エラー履歴表示画面”、“入出力確認”を押します。

モニター                   ： 電位センサの帯電電位を表示する。

エラー履歴表示画面   ： 過去30件のエラー履歴を表示する。

入出力確認            ： イオナイザーの現在のスイッチ/LED/入出力状態を表示する。

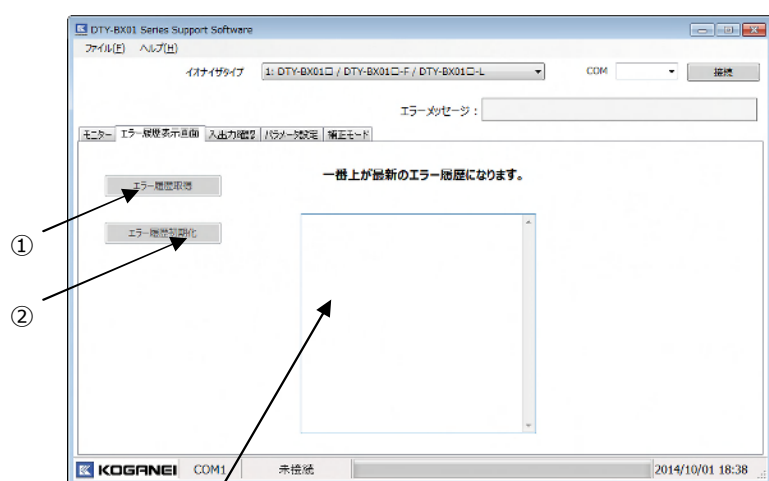
### 3-4 モニタータブ画面操作方法



No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	放電時間表示	・放電時間（クリーニングタイマー）を表示します。	・設定されたクリーニングタイマーの到達状態により、枠内の色が変わります。  到達：サーモンピンク 未到達：灰色
②	タイマーリセット	・放電時間（クリーニングタイマー）をクリアします。	
③	取得帯電電圧表示	・現在の電位センサ（sen.1）および電位センサ（sen.2）、内蔵センサの取得帯電電圧を表示します。	・測定範囲以外の帯電や未接続の場合は、以下のように表示されます。  未接続の場合：---- +オーバーレンジの場合：+OVER -オーバーレンジの場合：-OVER



### 3-5 エラー履歴表示画面タブ画面操作方法



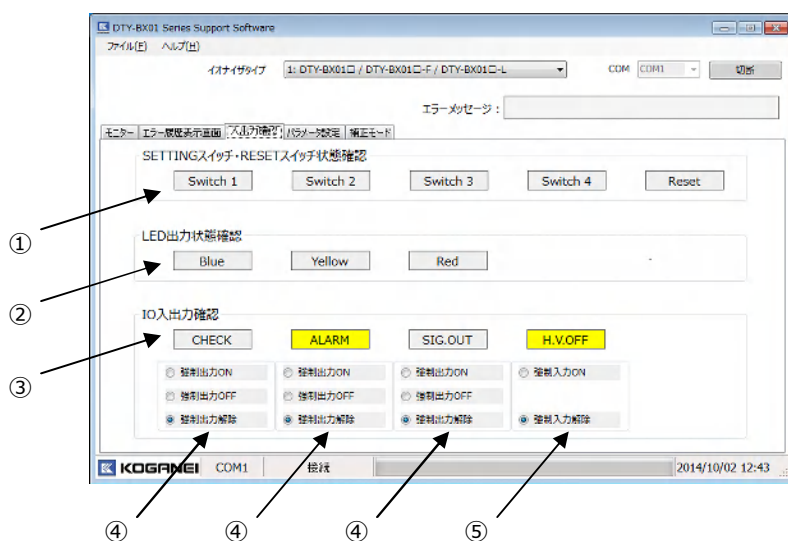
- ① : エラー履歴取得

② : エラー履歴初期化

エラー履歴表示欄

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	エラー履歴取得	・イオナイザー本体で持っているエラー履歴を一括取得し、エラー履歴表示欄に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去30件のエラー履歴を表示します。</li> <li>・一番上が最新のエラー履歴になります。</li> <li>・エラー履歴が無い場合は、エラー履歴表示欄に何も表示されません。</li> </ul>
②	エラー履歴初期化	・イオナイザー本体で持っているエラー履歴を初期化します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エラー履歴表示欄の表示はそのままです。</li> </ul>

### 3-6 入出力確認タブ画面操作方法

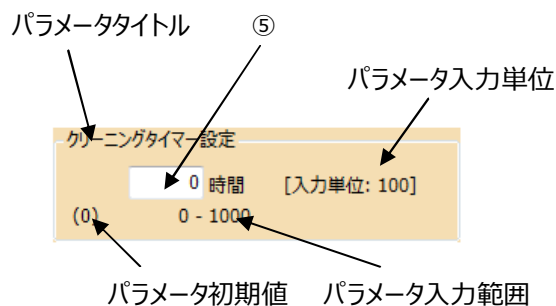
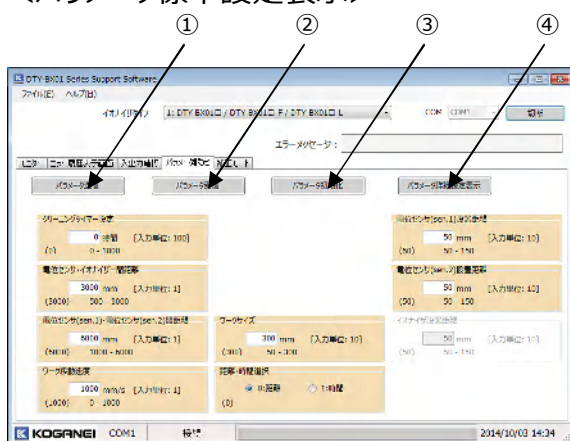


- ① : SETTINGスイッチ・RESETスイッチ状態確認表示  
 ② : LED出力状態確認表示  
 ③ : IO入出力確認表示  
 ④ : 強制出力確認選択  
 ⑤ : 強制入力確認選択

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	SETTING スイッチ・RESET スイッチ状態確認表示	・SETTING スイッチおよび RESET スイッチの状態を確認できます。	・スイッチや LED、入出力状態は以下の通りです。 黄色 : ON 灰色 : OFF ・情報更新間隔があるため、純然なりアルタイム表示ではありません。
②	LED 出力状態確認表示	・LED 出力状態を確認できます。	
③	IO 入出力確認表示	・IO 入力状態を確認できます。	
④	強制出力確認選択	・CHECK、ALARM、SIG.OUT 信号を強制出力することができます。 強制出力 ON : 強制的に出力を ON する 強制出力 OFF : 強制的に出力を OFF する 強制出力解除 : 強制的な出力を解除する	・PLC との接続確認など、接続確認用にのみ使用してください。 ・強制状態でタブを切り替えると、強制入出力は解除されます。 ・強制状態で通信回線を閉じると、イオナイザーは強制入出力状態のままになってしまいます。ご注意ください。
⑤	強制入力確認選択	・H.V.OFF 信号を強制入力（強制放電停止）することができます。 強制入力 ON : 強制的に放電停止させます 強制入力解除 : 強制的な放電停止を解除します	

### 3-7 パラメータ設定タブ画面説明

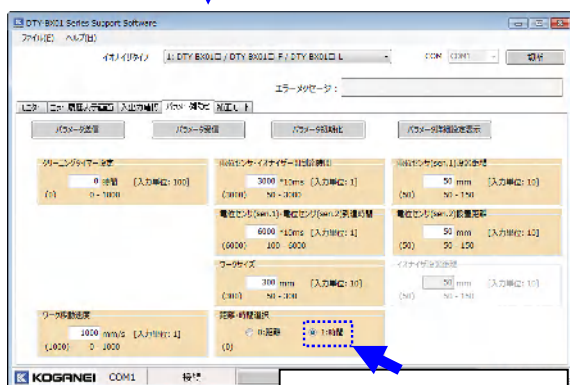
#### <パラメータ標準設定表示>



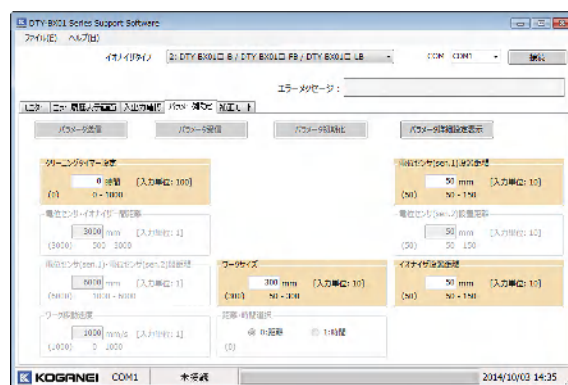
距離・時間選択切替



イオナイザータイプ切替

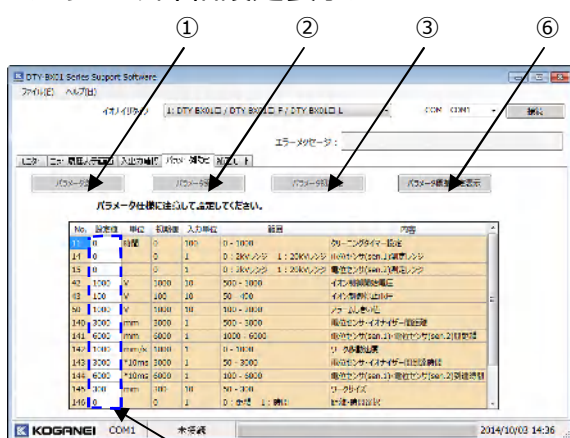


1: 時間を選択した場合



注) イオナイザーとの接続状態ではタイプを切り替えることはできません。

#### <パラメータ詳細設定表示>



⑤

イオナイザータイプ切替

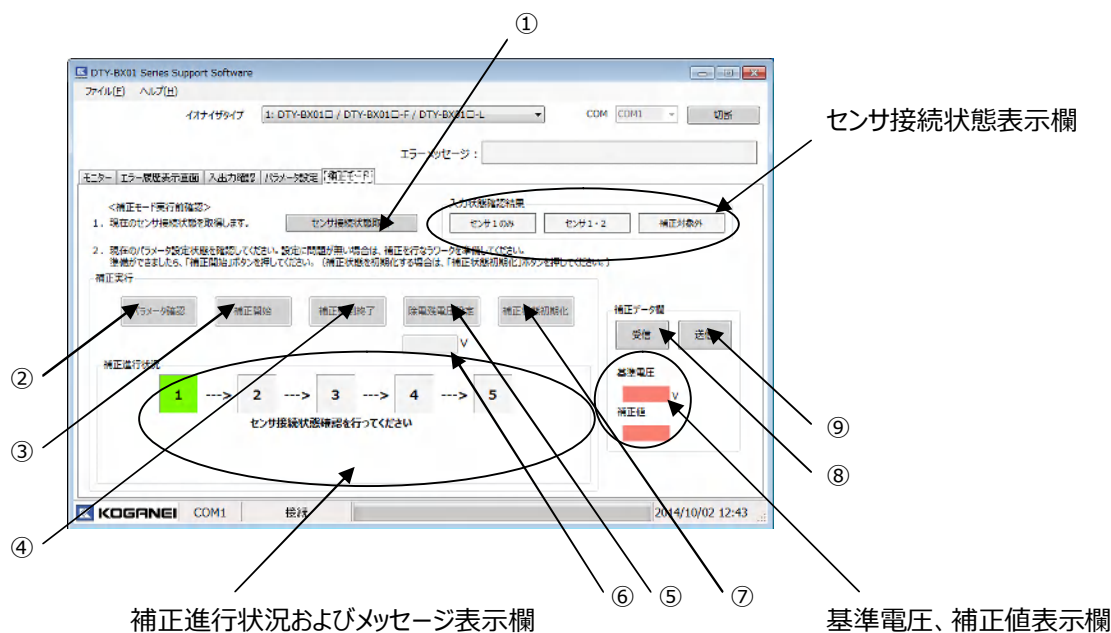
注) イオナイザーとの接続状態ではタイプを切り替えることはできません。

- ① : パラメータ送信ボタン
- ② : パラメータ受信ボタン
- ③ : パラメータ初期化ボタン

- ④ : パラメータ詳細設定表示切替ボタン
- ⑤ : 設定パラメータ値
- ⑥ : パラメータ標準設定表示切替ボタン

No.	名 称	操 作 方 法	注 意
①	パラメータ送信ボタン	・ボタンを押すと、パラメータを送信します。	・パラメータ標準設定画面が表示されている場合は、パラメータ標準設定画面に表示されているパラメータのみ送信します。 パラメータ詳細設定画面が表示されている場合は、パラメータ詳細設定画面に表示されているパラメータを送信します。
②	パラメータ受信ボタン	・ボタンを押すと、パラメータを受信します。	・パラメータ詳細設定画面に表示されている全てのパラメータを受信し、双方の画面に受信データを表示します。
③	パラメータ初期化ボタン	・パラメータを初期化します。	
④	パラメータ詳細設定表示切替ボタン	・表示画面をパラメータ詳細設定表示に切り替えます。	
⑤	設定パラメータ値	・設定するパラメータ値です。 パラメータを入力する欄です。変更する場合は、パラメータ値を変更し、パラメータを送信してください。	・入力範囲に関係なく入力することは可能ですが、送信の際にエラーになります。 ・パラメータ標準設定表示の場合は白色、パラメータ詳細設定表示の場合は灰色になっている項目は、パラメータ設定不要です。 (変更できません。)
⑥	パラメータ標準設定表示切替ボタン	・表示画面をパラメータ標準設定表示に切り替えます。	

### 3-8 補正モードタブ画面説明



①：センサ接続状態取得ボタン

②：パラメータ確認ボタン

③：補正開始ボタン

④：補正強制終了ボタン

⑤：除電残電圧設定ボタン

⑥：除電残電圧入力欄

⑦：補正状態初期化ボタン

⑧：補正データ受信ボタン

⑨：補正データ送信ボタン

No.	名称	操作方法	注意
①	センサ接続状態取得ボタン	・ボタンを押すと、センサ接続状態を取得します。取得結果は、センサ接続状態表示欄に表示されます。	
②	パラメータ確認ボタン	・ボタンを押すと、補正に関する現パラメータ設定が表示されます。	
③	補正開始ボタン	・補正モードを実行開始します。	
④	補正強制終了ボタン	・補正モードを終了します。	・補正モード終了後は、補正モードに入る前のモードになります。
⑤※)	除電残電圧設定ボタン	・除電残電圧入力欄の除電残電圧をイオナイザーに送信します	・除電残電圧とは、イオナイザーで物体を除電した後の、物体の帯電電圧の意味です。 除電後の物体を、表面電位計で測定し、帯電電圧を除電残電圧欄に入力してください。
⑥※)	除電残電圧入力欄	・イオナイザーに送信する除電残電圧を入力します。	
⑦	補正状態初期化ボタン	・補正モードで設定された内部データの初期化を行ないます。	・一度補正モードを完了させた場合は、必ず補正モードを実行する前に補正状態初期化ボタンを押してください。
⑧	補正データ受信ボタン	・補正モード内部データの一部である、基準電圧および補正值を受信します。	・これらのデータは、補正を行なうと自動設定されるデータです。補正を行なう場合には送信不要ですが、補正データを他のイオナイザーへコピーする場合に使用してください。
⑨	補正データ送信ボタン	・補正モード内部データの一部である、基準電圧および補正值を送信します。	

※) 電位センサ(sen.1)のみ接続の場合に使用します。

## 4.補正モード操作説明

### 4-1 補正モードとは

補正モードとは、「移動物体のイオン制御モード」で除電する際、対象物の帯電量や静電容量に合った放電を行なうための放電強度調整を行なうモードです。

そのため、補正モードは「移動物体のイオン制御モード」で除電する場合にのみ必要であるため、以下の全ての条件が満たされている場合に行なってください。

- ・ DTY-BX01-□-□-□ (DTY-BX01-□-□B-□以外) のイオナイザーを使用。
- ・ 電位センサ (sen.1) 、または電位センサ (sen.1) と電位センサ (sen.2) 両方を接続している。
- ・ SETTING スイッチ 1 が OFF (イオン制御除電モード) になっている。
- ・ パラメータ設定タブ内のワーク移動速度パラメータが 100mm/s 以上の設定になっている。

### 4-2 補正モード準備

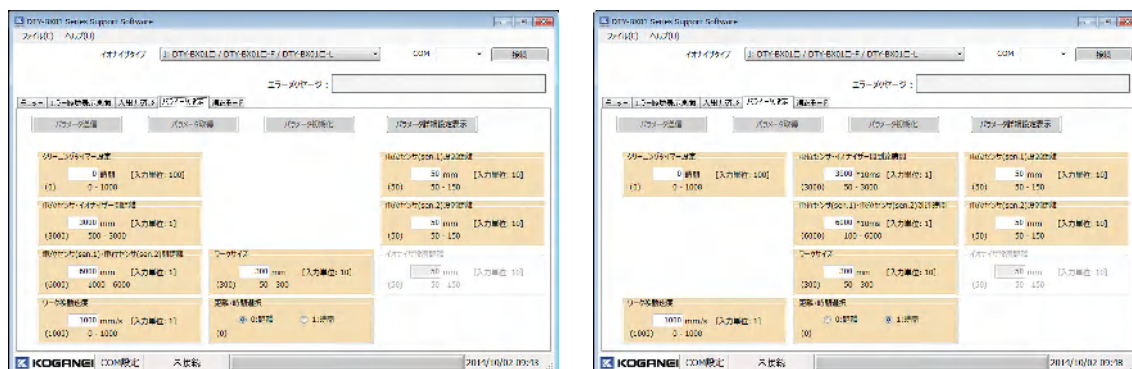
- ①補正モードを行なう前に、イオナイザーおよび電位センサの設置を完了させてください。また、除電対象となるワークを用意してください。(補正モードの際、実際に除電を行います。)

電位センサ (sen.2) が付いていない場合は、表面電位計を用意してください。

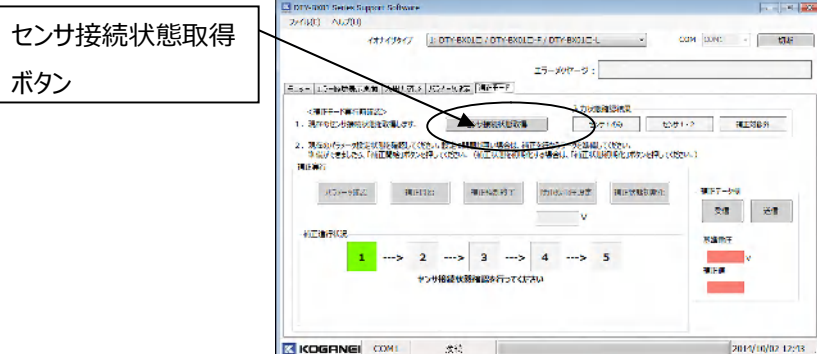
- ②パラメータ設定画面の、「クリーニングタイマー設定」以外の全てのパラメータを設定し、「パラメータ送信」ボタンを押し、送信します。

(距離または時間の選択により、パラメータ設定画面の設定項目が変わります。)

さらに詳細なパラメータを設定する必要がある場合は、パラメータ詳細設定表示ボタンを押し、必要な設定を行なってください。



- ③「センサ接続状態取得」ボタンを押して、現在の電位センサ設置状態を取得してください。「補正進行状況：①」

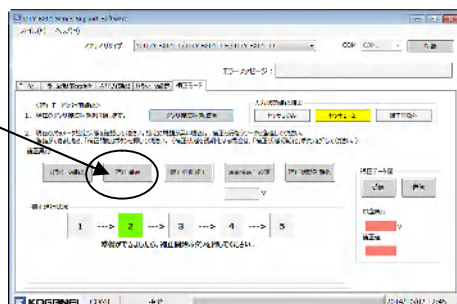


※電位センサが付いていない場合は補正対象外のタイプとなります。補正はできません。



## 4-3 補正モード開始

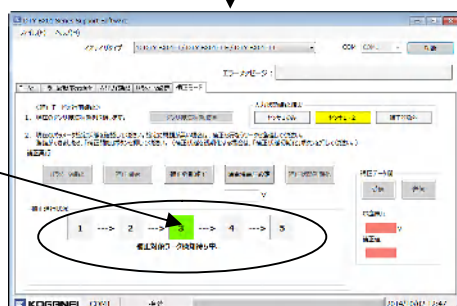
補正開始ボタン



①「補正開始」ボタンを押してください。

補正進行状況：2

補正進行状況



②補正進行状況が「3」に移行したことを確認したうえで、除電対象となるワークを装置に流してください。

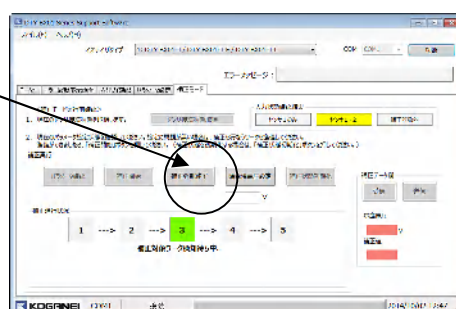
③除電対象となるワークが電位センサ（sen.1）を通過すると、補正進行状況が「4」に移行します。

※）除電対象となるワークが電位センサ（sen.1）を通過しても、補正進行状況が「3」のままである場合は以下のことが考えられます。その場合、一度「補正強制終了ボタン」を押して、補正モードを終了してください。

原因 1	設定されているパラメータが実際の設置環境と異なる。
対処 1	設置パラメータを確認し、正しい値に変更してください。
原因 2	除電対象となるワークの帯電電圧が低く、補正モード開始電圧に到達しない。
対処 2	<div>除電対象となるワークの帯電電圧を測定してください。</div> <div>&lt;帯電電圧が高い場合&gt;</div> <div>詳細パラメータ設定項目より、イオン制御開始電圧値を変更してください。設定値を変更後、再度①から始めてください。</div> <div>&lt;帯電電圧が低い場合&gt;</div> <div>補正を行なう必要がありません。そのままイオナイザーをご使用ください。</div>

補正進行状況が「4」に移行の際、  
・電位センサ（sen.1）のみの場合  
・電位センサ（sen.1）（sen.2）  
の両方が接続されている場合  
で、以降の進み方が変わります。  
(P15)

補正強制終了  
ボタン



①へ

補正終了

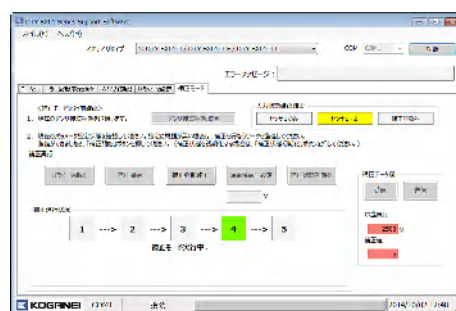
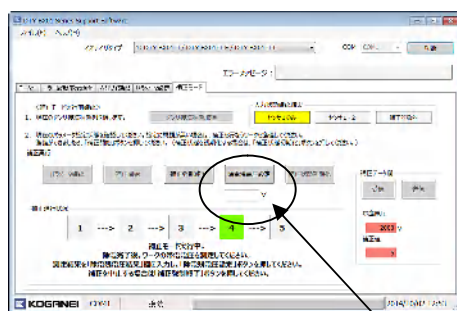
P15

<電位センサ (sen.1) のみの場合>

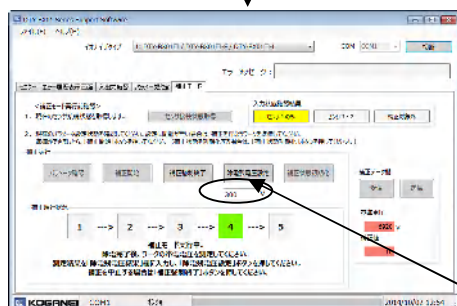
④ 除電対象となるワークがイオナイザーを通過後（除電後）に、表面電位計にて除電対象となるワークの帯電電圧を測定してください。  
測定結果（除電残電圧）を、「除電残電圧設定ボタン」下の入力欄に入力し、「除電残電圧設定ボタン」を押してください。

<電位センサ (sen.1) (sen.2) の両方が接続されている場合>

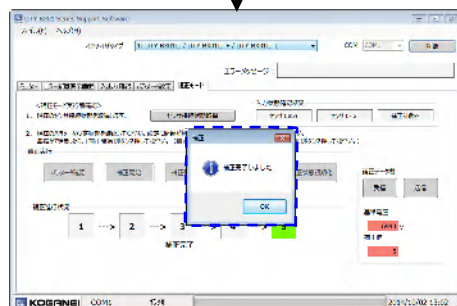
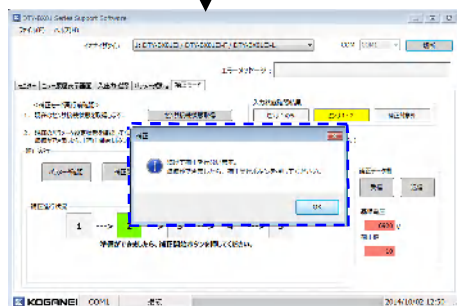
④ 除電対象となるワークがイオナイザーを通過し、除電されたワークが電位センサ (sen.2) を通過すると、自動的に帯電電圧（除電残電圧）を測定します。



除電残電圧設定ボタン  
および除電残電圧入力欄



除電残電圧が 300V だった場合の入力例



それ以外の  
メッセージ表示  
(4-4 項へ)

<続けて補正を行なうように促すメッセージの場合>  
(P16)

<補正終了メッセージの場合>  
(P16)



<続けて補正を行なうように促すメッセージの場合>

⑤まだ最適な除電補正が可能と判断した場合は、続けて補正を行なうように促すメッセージが表示されます。新たな帯電状態の除電対象となるワークを用意し、①に戻り、補正を続けてください。

①へ

<補正終了メッセージの場合>

⑤除電残電圧の結果、最適な除電補正值となったとみなされ、補正終了メッセージが表示されます。補正終了となるので、最適な状態でイオナイザーをご使用いただけます。

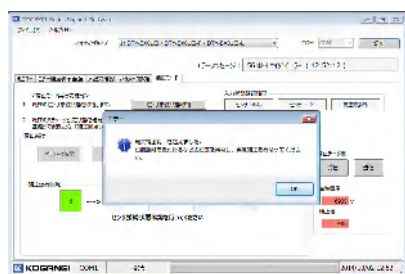
補正終了

なお、補正を行なうと、補正データ欄に今回行なった補正データが表示されます。

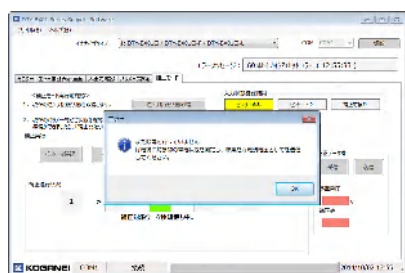
補正データを他のイオナイザーにコピーしたい場合は、コピーするイオナイザー本体に取り替えて、補正データ欄の「送信ボタン」を押してください。

## 4-4 補正モード中のエラーについて

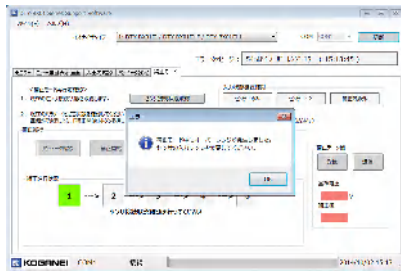
補正モード実行時に、状況によってはエラーが発生する場合があります。



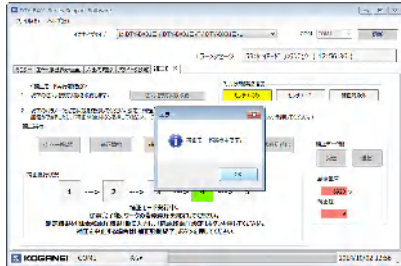
内容	牦付タイエラー
原因	最大除電でも対象ワークが十分除電できず、補正不可能となった。
対処 1	イオナイザー設置距離を近づけ、補正状態初期化後、再度①から始めてください。
対処 2	詳細パラメータ設定項目より、イオン制御開始電圧値を変更してください。設定値の変更を行ない、補正状態初期化後、再度①から始めてください。



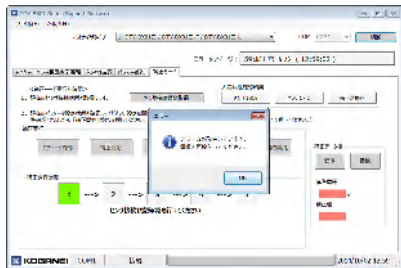
内容	牦イガイマセットエラー
原因 1	除電対象となるワークが、電位センサ（sen.1）を通過前に除電残電圧を入力した。
対処 1	イオナイザー通過後に除電残電圧を送信してください。
原因 2	除電対象となるワークの帯電電圧が低く、補正モード開始電圧に到達しない。
対処 2	<p>除電対象となるワークの帯電電圧を測定してください。</p> <p>&lt;帯電電圧が高い場合&gt;</p> <p>詳細パラメータ設定項目より、イオン制御開始電圧値を変更してください。設定値を変更後、再度①から始めてください。</p> <p>&lt;帯電電圧が低い場合&gt;</p> <p>補正を行なう必要がありません。そのままイオナイザーをご使用ください。</p>



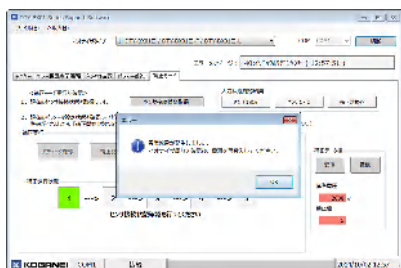
内容	セル オーバーレンジ エラー
原因	補正中にオーバーレンジが発生した。
対処	詳細パラメータ設定項目より、電位センサ（sen.1）測定レンジ値を変更してください。設定値を変更後、再度①から始めてください。



内容	セルイートンテンチウ
原因	除電対象となるワークの除電を行なう前に、除電残電圧を入力した。
対処	イオナイザー通過後に除電残電圧を送信してください。



内容	セルイアラーム
原因	補正を行なう以前に、イオナイザーがアラーム状態です。
対処	電源を再投入後、補正を行なってください。



内容	イオン化センサ
原因	補正中に異常放電が発生した。
対処	イオナイザー周りに異物が無いか確認してください。 異物を取り除き、電源を再投入後、補正を行なってください。

## 5. 付録

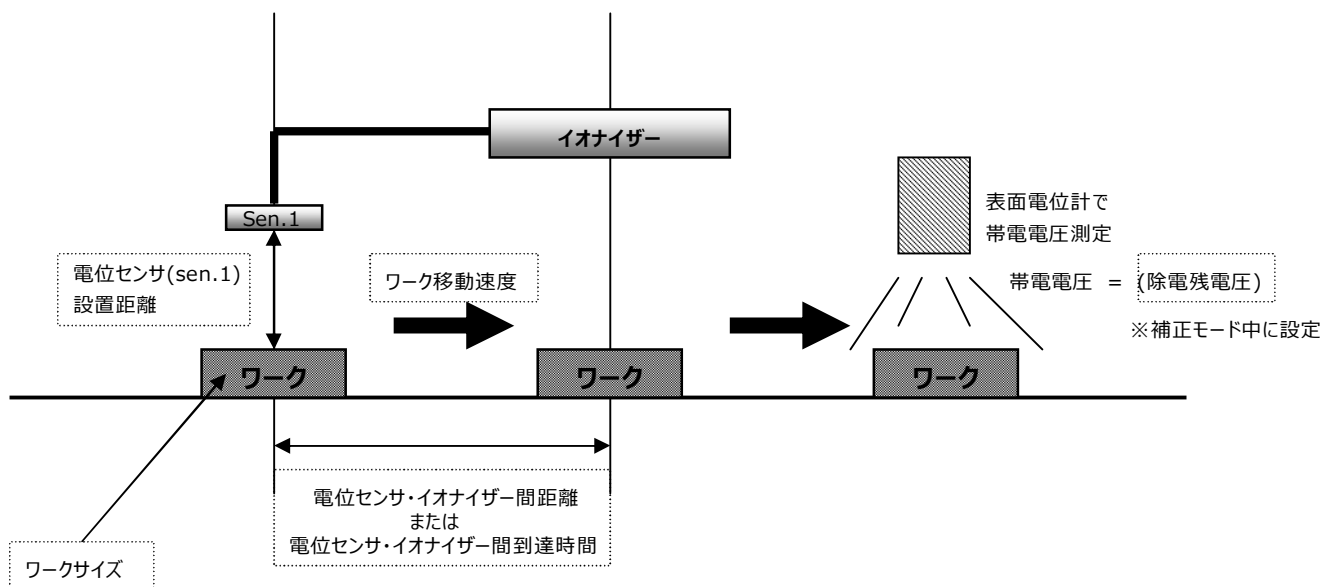
### 5-1 パラメーター一覧表

パラメータ名	単位	初期値	入力単位	入力範囲	意味
クリーニングタイマー設定	時間	0	100	0 - 1000	クリーニングタイマー到達時間です。 0 はクリーニングタイマー設定無しとなります。
電位センサ(sen.1)測定レンジ		0	1	0 : 2kV レンジ 1 : 20kV レンジ	電位センサ(sen.1)の測定レンジです。 電位センサ(sen.1)の設定と合わせてください。
電位センサ(sen.2)測定レンジ		0	1	0 : 2kV レンジ 1 : 20kV レンジ	電位センサ(sen.2)の測定レンジです。 電位センサ(sen.2)の設定と合わせてください。
イオン制御開始電圧	V	1000	10	500 - 1000	イオン制御モード開始電圧です。この電圧を上回った場合に、イオン制御モードが開始します。
イオン制御停止電圧	V	100	10	50 - 490	停止時のイオン制御モード停止電圧です。この電圧を下回った場合に、イオン制御モードが停止します。
アラームしきい値	V	1000	10	100 - 2000	判定用の電位センサで検知した帯電電圧を、アラームと判定する電圧です。 注) 判定用の電位センサは、形式により異なります。 ・DTY-BX01-□-□-□の場合は(sen.2) ・DTY-BX01-□-□B-□の場合は(sen.1)
電位センサ・イオナイザー間距離	mm	3000	1	500 - 3000	電位センサ(sen.1)とイオナイザーまでの距離です。
電位センサ(sen.1)・電位センサ(sen.2)間距離	mm	6000	1	1000 - 6000	電位センサ(sen.1)と電位センサ(sen.2)までの距離です。
ワーク移動速度	mm/s	1000	1	0 - 1000	除電対象となるワークの移動速度です。 0 は移動無し設定となります。
電位センサ・イオナイザー間到達時間	*10ms	3000	1	50 - 3000	電位センサ(sen.1)からイオナイザーに物体が到達するまでの時間です。
電位センサ(sen.1)・電位センサ(sen.2)間到達時間	*10ms	6000	1	100 - 6000	電位センサ(sen.1) から電位センサ(sen.2) に物体が到達するまでの時間です。
ワークサイズ	mm	300	10	50 - 300	除電対象となるワークのサイズです。直径サイズで設定してください。
距離・時間選択		0	1	0 : 距離 1 : 時間	電位センサ(sen.1)からイオナイザー、電位センサ(sen.1) から電位センサ(sen.2) まで物体が到達する時間を、「距離 (と速度)」、「時間」の何れから選択するかを選択します。
電位センサ(sen.1)設置距離	mm	50	10	50 - 150	電位センサ(sen.1)と、除電対象となるワークまでの距離です。
電位センサ(sen.2)設置距離	mm	50	10	50 - 150	電位センサ(sen.2)と、除電対象となるワークまでの距離です。
イオナイザー設置距離	mm	50	10	50 - 150	イオナイザーと、除電対象となるワークまでの距離です。

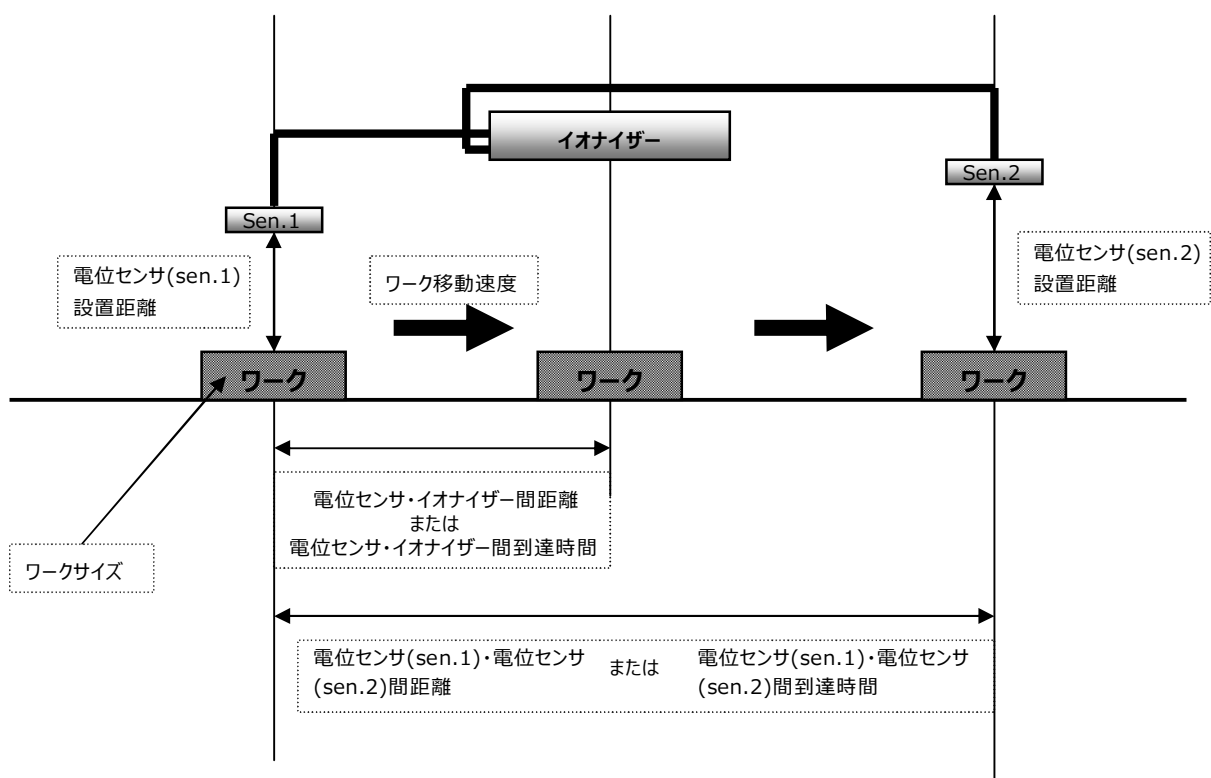
## 5-2 補正時設定パラメータ説明

下図内の点線囲みパラメータを設定してください。

### ① 電位センサ(sen.1)のみ接続の場合



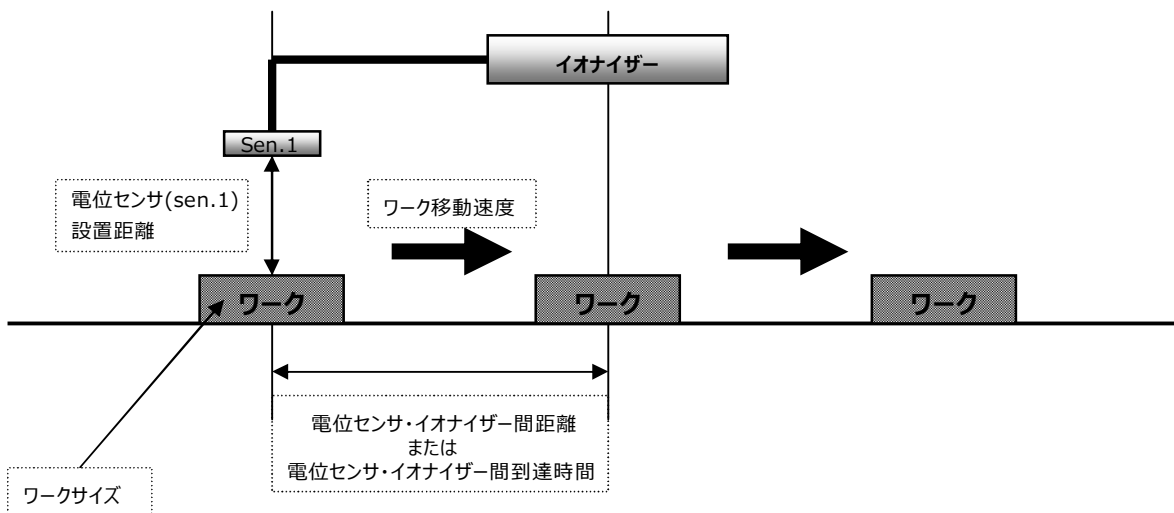
### ② 電位センサ(sen.1)と電位センサ(sen.2)接続の場合



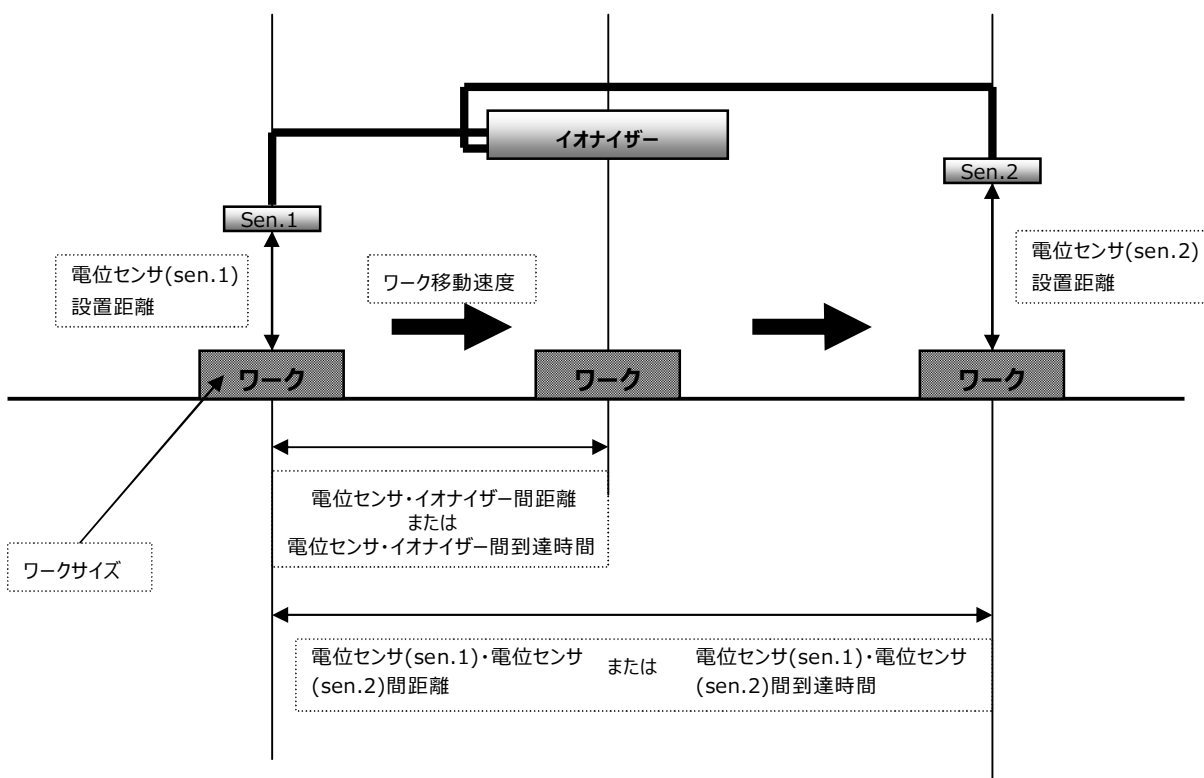
### 5-3 形式による設定が必要なパラメータ説明

#### <DTY-BX01-□-□-□を使用>

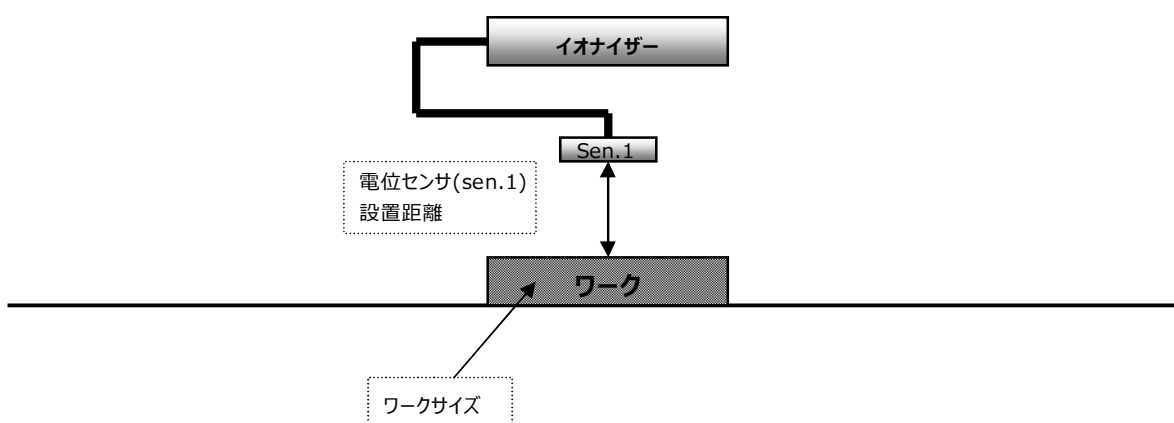
① 移動速度100mm/s以上に設定し、電位センサ(sen.1)のみ接続の場合



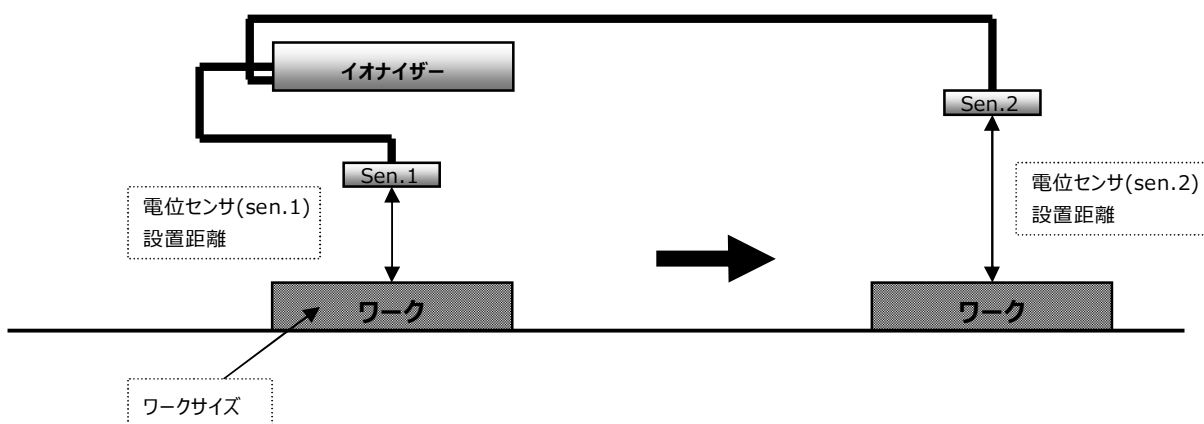
② 移動速度100mm/s以上に設定し、電位センサ(sen.1)と電位センサ(sen.2)接続の場合



③移動速度100mm/s未満に設定し、電位センサ(sen.1)のみ接続の場合



④移動速度100mm/s未満に設定し、電位センサ(sen.1)と電位センサ(sen.2)接続の場合

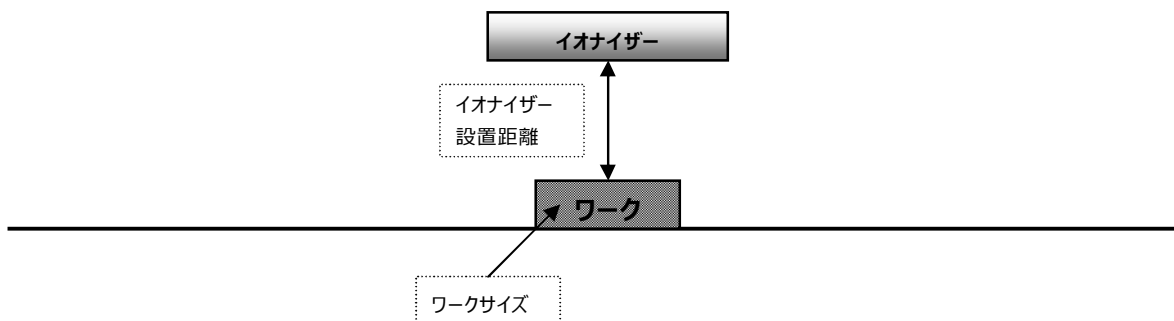


⑤電位センサなしの場合  
必要パラメータ無し。

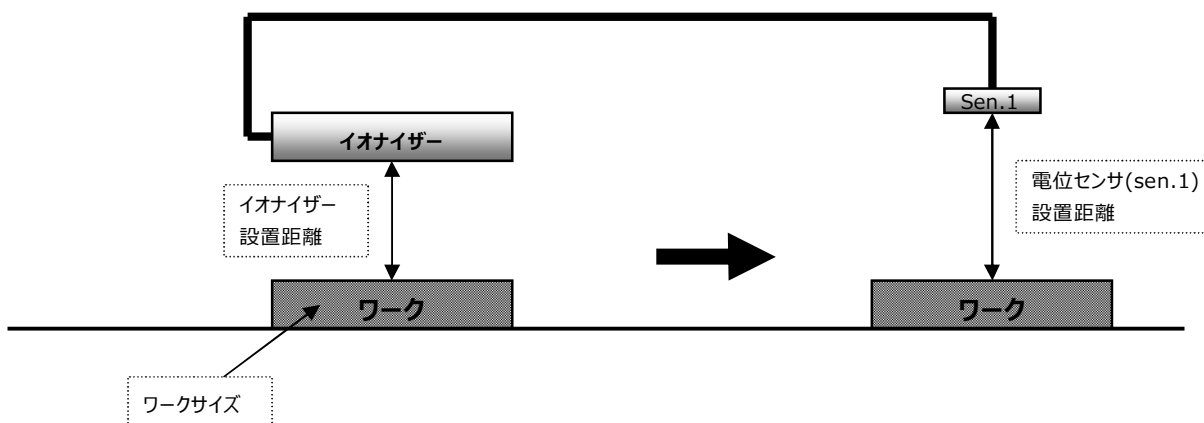
<DTY-BX01-□-□B-□を使用>

下図内の点線囲みパラメータを設定してください。

① 電位センサなしの場合



② 電位センサ(sen.1)接続の場合



<DTY-BX01-□-□Nを使用>

必要パラメータ無し。

内容についてのご不明な点や技術的なご質問がございましたら下記の技術サービスセンターへお問合せください。

《問合せ先》

株式会社コガネイ 技術サービスセンター

住 所：東京都小金井市緑町 3 - 1 1 - 2 8

T E L：0 4 2（3 8 3）7 1 7 2

F A X：0 4 2（3 8 3）7 2 0 6

2014 年 10 月 Ver.1.0